


議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男 

視察・調査場	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会
期 日	令和3年12月19日 ~ 令和3年12月19日
経 費	10000円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目的	オンライン開催の研修会
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	ひきこもり支援については、一般質問で今まで3回取り上げた。民生委員の協力で、竹原市内の実態調査がすでに実施されており、今後は支援体制の整備が必要になると考えて、ひきこもり家族会連合会が主催する研修会を受講した。
効果・成果等	研修会の資料を担当課へ紹介したところ、市職員、社会福祉協議会職員など6名が1月10日(祝日)の研修会を受講することになったと報告を受けており、ひきこもりへの理解、支援の体制づくりが前進していると感じている。 12月12日には引きこもり家族会「KHJ広島もみじの会」に参加して、情報交換をお願いした。今後も粘り強くひきこもり支援に関わっていきたい。

令和3年度 厚生労働省 民間団体活動助成事業  
特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

# ひきこもりの理解促進と 支援力向上のための研修会 ～基礎編(オンライン開催)～

2021年12月19日(日) 9:20～16:10 (12月コース)

2022年1月10日(月・祝日) 9:20～16:10 (1月コース)

※どちらのコースも、研修会は概ね同じ内容になります。  
どちらか御都合のつく日時のコースにお申込みください。

※両コースとも、それぞれ200名の定員になります

ひきこもりの問題は社会的孤立の問題として、喫緊の課題として認識されております。その背景としては長く社会制度の狭間に置かれ、自己責任を追及されて、どこにも支援を求められない状況がありました。今度から施行の「改正社会福祉法」では地域における包摂的な支援体制が明記され、課題解決だけでなく繋がり続けることで孤立させない支援が求められています。

しかし実践活動の中ではひきこもり支援に対して苦慮の声が多数ございます。就労や社会参加をゴールにする支援に行き詰り、本人や家族と信頼構築に至らないことを悩む声も少なくありません。特に8050世帯では、親の要介護や貧困といった複合的な問題を抱えるケースが多く、一機関では対応しきれない状況もあり、多機関・多職種連携が求められています。

KHJ全国ひきこもり家族会連合会では、家族会(当事者団体)として専門職や有識者と連携しながら、長くひきこもり支援を実践してきました。2017年度からは、積み上げた実績や研究結果に基づいて、支援者を対象にひきこもりに関する諸問題や支援策について研修会を実施しております。過去の研修会参加者からの満足度も大変高く「ひきこもりの相談対応や支援実践活動の参考になった」との評価を多数頂いております。

今年度から厚生労働省の助成を受けて研修の検討委員会を設置し、研修会を体系的に再構築しております。本研修会は委員会の検討内容を受けて、現在の社会状況や改正社会福祉法などを踏まえた内容としてより充実した研修内容としました。

コロナ禍の影響を勘案し、本研修会はZoomを用いたオンラインで開催いたします。ご自宅や、職場からPCなどで研修に参加いただけます。

詳細は次頁以降をご参照ください。本研修を通じまして、より現場の活動に反映できる機会となれば幸いです。

## 1. 研修内容

12月コース：2021年12月19日（日）開催

No.	研修時間	研修内容
1	9:30~10:45	<p><b>講義：「ひきこもり支援に携わる上での基本事項と理念」</b>  <b>～ひきこもりの定義と現状、支援の基本的過程～</b>  <b>講師：境 泉洋（公認心理師、臨床心理士）</b>            宮崎大学教育学部 教授、KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長            代表著書「CRAFTひきこもりの家族支援ワークブック」（金剛出版）</p> <p><b>～ひきこもり支援を担う社会資源～</b>  <b>講師：中井 俊雄（認定社会福祉士、精神保健福祉士）</b>            ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授            代表著書「人口7万人の基礎自治体が独自に開設した            総社市ひきこもり支援センター『ワンタッチ』（東京法規出版）</p>
2	11:00~12:15	<p><b>講義：「家族支援の基本的理解」</b>  <b>～家族支援の必要性と心理、家族の関わり方への支援の基礎～</b>  <b>講師：境 泉洋（公認心理師、臨床心理士）</b>            宮崎大学教育学部 教授、KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長            代表著書「CRAFTひきこもりの家族支援ワークブック」（金剛出版）</p>
	12:15~13:15	<p>昼休憩 ※13:15までに画面の前にお戻りください</p>
3	13:15~14:30	<p><b>講義：「本人支援の基本的理解」</b>  <b>～本人の心的・社会的状況の理解、本人への関わり方～</b>  <b>講師：竹中 哲夫（臨床心理士）</b>            日本福祉大学名誉教授、日本福祉大学心理臨床研究センター（心理臨床相談室）            研修指導員 代表著書「ひきこもり支援論」（明石書店）</p> <p><b>～本人の身体的状況の医学的理解～</b>  <b>講師：加藤 隆弘（精神科医師）</b>            九州大学大学院医学研究院 精神病態医学准教授            代表著書「みんなのひきこもり～つながり時代の処世術～」（木立の文庫）</p>
4	14:45~16:00	<p><b>講義：「ひきこもり支援における当事者活動への理解」</b>  <b>～本人や家族が支援者に望むこと～</b>  <b>講師：丸山 康彦（ヒューマンスタジオ代表）</b>            不登校・ひきこもり経験者、経験を踏まえての支援活動を実践            代表著書「不登校・ひきこもりが終わるとき」（ライフサポート社）</p> <p><b>～家族会・居場所、ピア活動への理解～</b>  <b>講師：斎藤 まさ子（保健学博士 ライフサイエンス/臨床看護学）</b>            長岡崇徳大学看護学部 教授            代表編著「ひきこもり家族会と地域との有機的な連携構築に向けて」（ウェストン）</p>